

安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2003

Vol-5

65



表紙写真：水車のある風景
(京都府)

それ行け!! 安全くん 「夜の仕事は明るく慎重に!」の巻

●解説コーナー
「地中埋設管に気をつけよう!」
「他人の目から見た『ヒヤリハット』」
「夏バテ回復法」

●世の中 見たトコ勝負 VOL.5
「フルーツは好き?」

●NISHIO TOPICS
CONET 2003 ～建機展に出展!～



インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>



〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

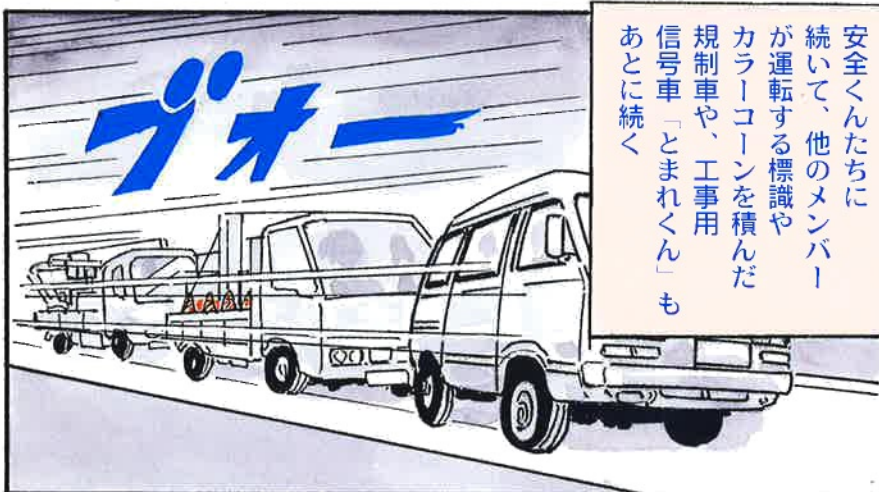
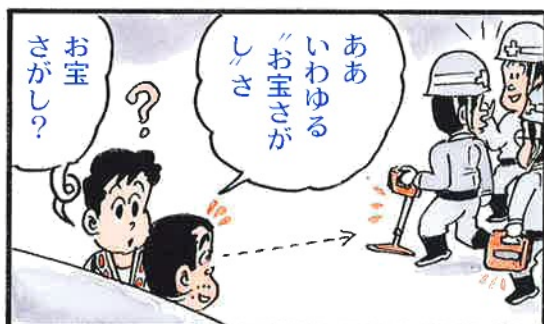
それいけ!! 安全くん

画 中村よしのぶ

連載 その65



「夜の仕事は明るく慎重に!」の巻





解説 コーナー

地中埋設管に気をつけよう! ~公衆災害を引き起こさぬために~

1) 計画・調査・協議を確実に!

- ①埋設物企業者(電力、ガス、電話、水道、下水等)との事前協議を行い、施工方法や手順の承認を受ける。
- ②工事で影響がでる範囲内の埋設物の状況を正確に把握し、確認図を作成する。
- ③立会い作業の範囲、立会いの依頼方法を定める。

2) 作業指揮者等の選任

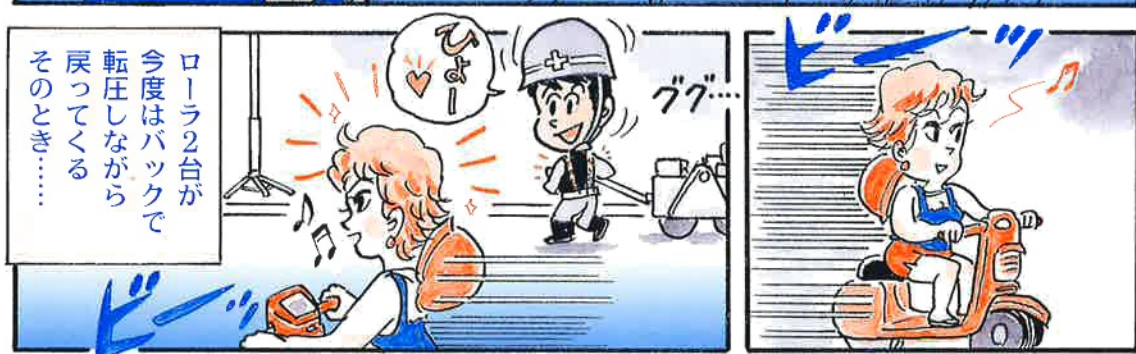
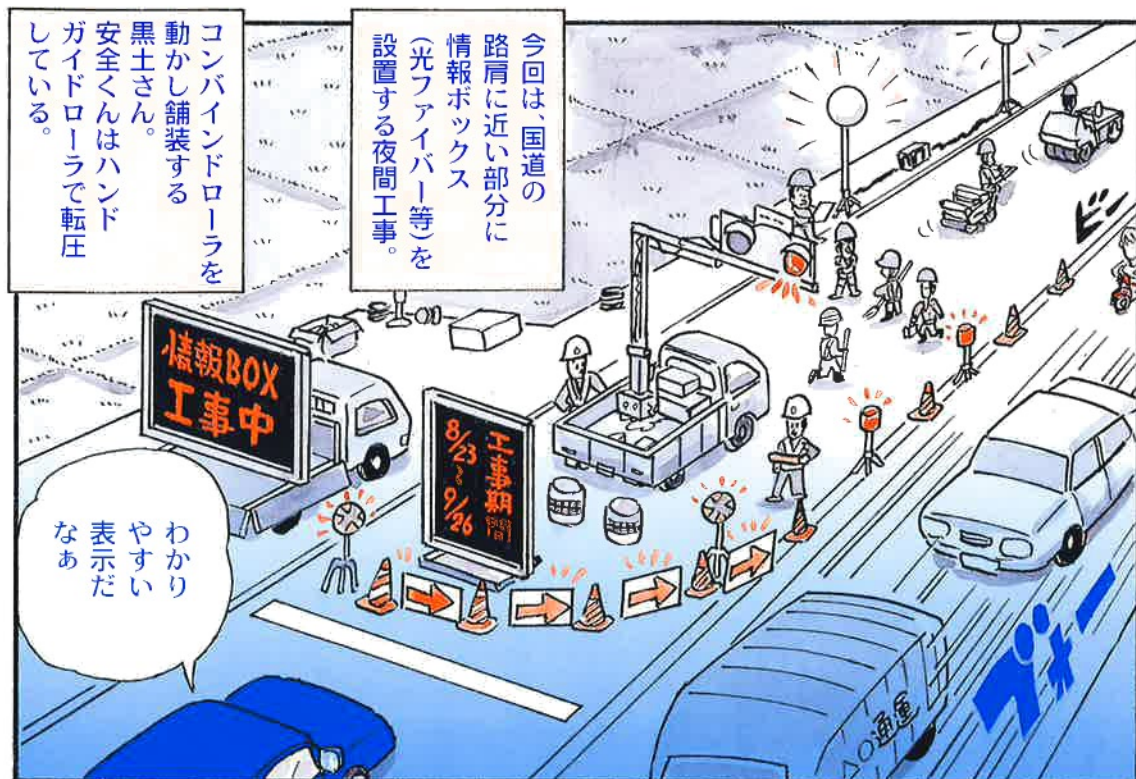
- ①ガスの防護作業には作業指揮者を選任する。
- ②点検体制を確立し、各埋設物ごとの点検責任者を定める。

3) 施工管理について

- ①埋設物の状況を従事する作業員全員に周知徹底する。
- ②同じく施工方法、作業手順を周知徹底する。
- ③立会い指定の作業や埋設物への影響が予想される作業の時は、関係企業者の立会いで作業する。
- ④点検責任者により日常の点検を行う。
- ⑤立会い記録、点検記録を作成、整備する。
- ⑥現場内での火気厳禁。消火設備の用意。
- ⑦掘削時、管路が露出するまで手掘りで行う。

※ NISHIOでは、金属探知器、鉄管・ケーブル探査器のレンタルを開始しました。埋設管が予想される現場での事前調査の一環としてご活用ください。(裏表紙に広告掲載)





解説コーナー

他人の目から見た「ヒヤリハット」

～人の振り見て、みんなの振りも直そう！～

- ◆各現場でも安全活動の一環として「ヒヤリハット」を提出させたり、これをもとに改善を行ったりされていることと思いますが、これがなかなか思ったように出てこない。
- ◆結局、事故につながらなかったちょっとしたミスは、思わず立ちすくんだり、驚いて手の道具を取り落とすなど、記憶に刻みつけられるようなことがないがぎり、ほとんど忘れてしまっていることが多いようです。
- ◆そんな人も、周囲からは結構「ヒヤリハットの」な行為を目撃されているケースが多いのでは？ たとえば、運転中に助手席の人から、「今、人が飛び出そうとしていたのを気付いていた？」「おい、今、赤信号だったのでは？」など、自分が気付いていなかった「危険」を指摘されたことはありませんか？ しかし、いくら助手席の人がヒヤっとしても本人はいたって涼しい顔。いわゆる「知らぬが仏」状態。
- ◆でも、そんな人もいつか事故を起してしまいそうですよね。本人が気付かない危険スレスレの行為を見かけたら、ちゃんと指摘しあえるような人間関係があれば、指摘する方も、言われた方も、気持ちよく改善に結び付けられるはず。「人の振り見て、わが振り直せ」だけで終わらず、その人の振りも直してあげれば、「安全な職場作り」の実践になります。しかし、あくまでも本人のこと、チームのことを思って発言を！ 他人に厳しくするだけでなく、自分が指摘されたことも素直に聞く心づもりで。

ガンさんのワンポイントレッスン

『“ボンヤリ”には、 トークと笑いが必要！』

■夜間工事の最中に居眠り寸前の“ボンヤリ”を経験したことはありませんか？ もちろん、これは昼間でも、そして運転中に最も起きる状況ですが、これは脳の働きが低下している状態を指します。居眠りに入る直前には“群発α波”という特殊な脳波が発生し、顔の表情にも目の動き＝まばたきに変化が現れるとのこと。まばたきの間隔が長くなり、目を閉じて明けるまでのタイムも長くなる。



■さて、工事現場では騒音や振動（低周波）、そして重機が行き交うような環境が多いのですが、それでも脳の働きが不活発になり、“ボンヤリ”という状態に陥る瞬間があります。周囲の騒音も気にならない適度な雑音に変化し、振動も眠気を誘うリズムに変わる。そんな時に事故は発生します。

■職長は、作業員の表情、とくに目の動きの注意してください。手は動いていても、そんな表情が表れたら脳の動きが鈍くなっていますので、怒鳴ったりするよりも、会話をする＝話をさせることにより、脳の働きを活発にさせることで、できれば考えて答えるさせるような質問がよいでしょう。そういえば、ドライブの際、同乗者が居眠りし、しゃべる相手がいなくなれば、途端にボンヤリしてきますよね。作業現場でも同じ。仕事が単調になりだしたら、ちょっと休憩し、笑いあえるようなトークタイムを！ そんな心遣いも職長の仕事です。



ローラにひかれ
そうになり急
停止する。



ハンドル操作が
おろそかになり
路肩のL型側溝に触れ
振動が大きくなる。

SAFETY CHECK

セーフティ チェック

小さいけれど危険は大！ ハンドガイド式ローラの安全

路肩や小規模の転圧作業に使用されるハンドガイド式ローラ。搭乗式に比べて小さいからといって安易に扱うと大きな事故を招きます。（ローラの特別教育が必要です）

■ハンドル操作は前向きに！

過去に後進での転圧時、操作者が操作ハンドルと後方の障害物に体をはさまれたり、転倒しローラに轢かれる事故が発生しています。後進時の操向は、操作ハンドルの左右いずれかで進行方向に前向きに行い、ハンドル真後ろであとすずりする方法是避けましょう。また、道板や段差を乗り越える際、シオン状態となって急にハンドルが跳ね上がるなどの危険もありますので、十分にご注意を。

■日常点検のポイント

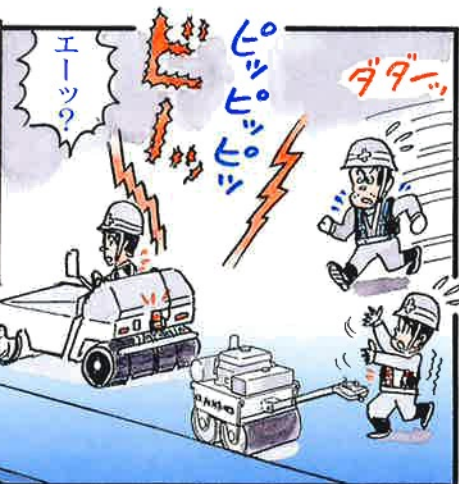
- ①外観及び鉄輪に亀裂、損傷はないか、②燃料・オイル・冷却水の量は適正か、③エンジンの排気色のチェック、異音はないか、④クラッチの作動は？滑りはないか、⑤操向ハンドルにガタはないか、⑥安全装置は作動するか、⑦油圧配管・油圧ポンプの損傷、油漏れ、異音はないか。またセル付機種はバッテリーのチェックもお忘れなく。

※古い機械は油圧ホースの劣化による油漏れや破裂等トラブルが有るので定期的な検査をしましょう。ハンドガイド式ローラは、特定自主検査の対象機械です。





そこへバックして
きた黒土さん
運転のコンバインド
ローラの後方
センサーが働き
警報になる。



SAFETY CHECK

セーフティ
チェック

ポータブル発電機のトラブル防止



持ち運びが便利なポータブル発電機。最近では、コンピュータ関連機器や情報通信機器、測定器など周波数や電圧変動に敏感な機器にも使用できる「インバーター付」も登場していますが、その機能を過信すると思わぬトラブルが発生すること。

□インバーター付発電機のトラブル

インバーターの温度が異常に高くなると、電源が取り出せなくなります。冷却用の風取り口がふさがったりしていないか確認してください。インバーターは電圧変動を制御しますが、ポータブル型は容量が小さいので、キャップタイヤコードが使用される電流に対して細すぎたり長すぎると、電圧低下する恐れが有り注意が必要です。

□選定の目安

使用する電気機器の消費電力を、そのまま発電機の出力に置き換えて発電機を選ぶと、容量不足によるトラブルを招きます。電動工具や水中ポンプなどのモータ使用機器は、始動時に大きな電流を必要とするので、発電量にはゆとりをもって選定しましょう。

●始動時における負荷率：交流100V

白熱灯	消費電力(W)×1
蛍光灯・水銀灯	消費電力(W)×2.5
電動工具(ドリル・サンダー)	消費電力(W)×2
軽便パイプレータ	消費電力(W)×2
水中ポンプ	消費電力(W)×3
ウインチ	消費電力(W)×3



